



これまでの歩み

「美しい色に喜びを感じるのは人類共通の感覚であり、自分の生活が好きな色彩によって包まれないと思わないのは私たちの念願である」と創業者 高橋義博は考えました。お客様の「もっと自由に彩りたい」という願いに応え、企業活動を通じて社会に貢献したいとの想いから研究開発を進めてきました。当社の「色」が人々の生活に欠くことのできない要素となり、未来でも人々の生活をより豊かに彩ってほしいと心より願い続けてきました。

顔料の国産化を目指し創業

創業者 高橋義博は戦前、顔料の多くを輸入に頼っていたことを憂い、1931年に顔料の国産化を目指し彩華顔料合資会社を創業しました。顔料はそのままでは使いにくく、顔料を普及させるためには使いやすい形にしなければならぬと考え、研究開発を始めました。

1944年に同業2社を吸収合併し大日精化工業株式会社に改称、現在のベースができました。



創業者 高橋義博



Dainichiseika

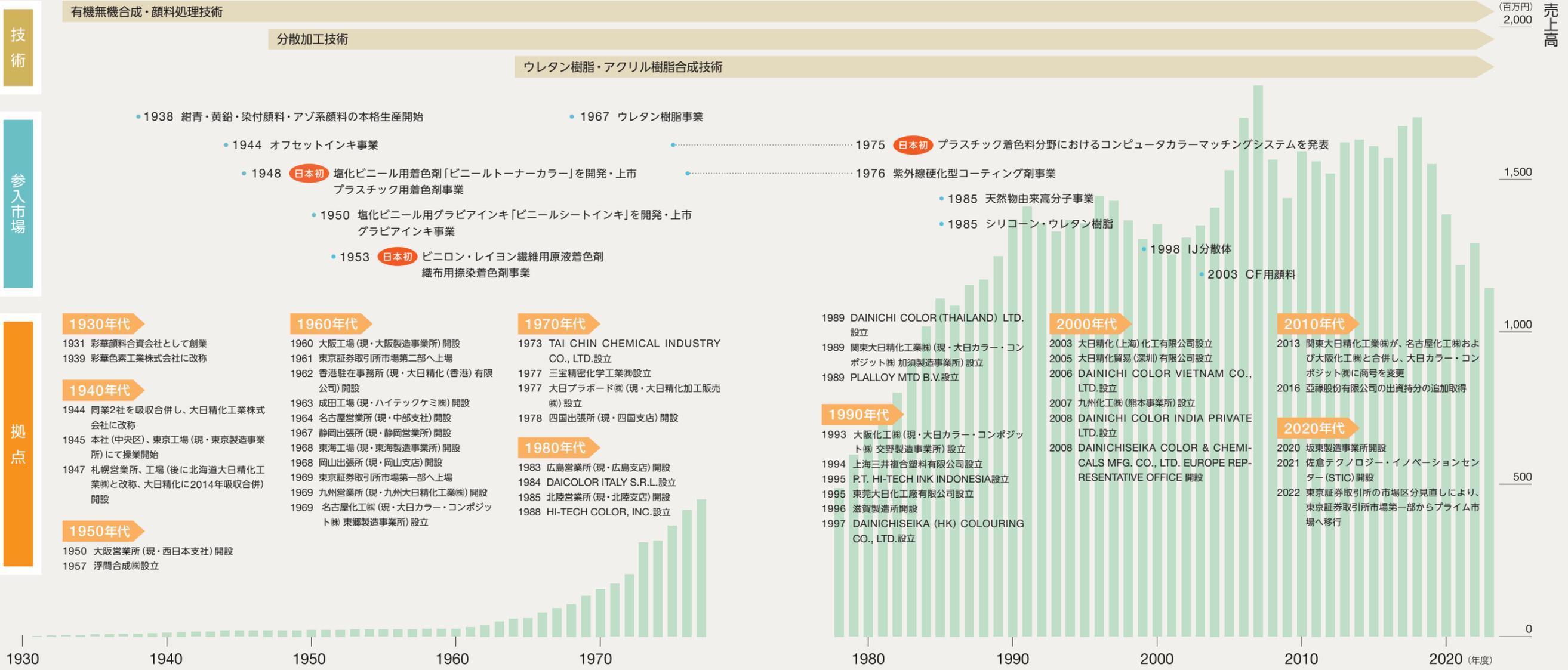
1950年に制定された当社のロゴマークは、水陸両棲の「ペリカン」と「地球」をモチーフとしています。美しい色彩を携え、日本中に歩を進め、世界へと羽ばたく水鳥の王者のようになりたいと願う、創業者と従業員の想いが込められています。

技術開発・生産体制が整備され、国内市場へ浸透

第二次世界大戦後、再スタートを切った当社は「合成樹脂用着色剤」「顔料捺染剤」「合成繊維用原液着色剤」の研究開発を戦後計画の3本柱としました。1953年までにこれら3本柱の技術開発が確立し、1968年に東海工場（現・東海製造事業所）が完成しました。ここから本格的に国内市場へ浸透していきました。

「国産化」の技術を海外市場へ展開

1980年代から、日本企業の海外進出が積極化するなか、そのニーズに応えるため、展開エリアを拡大していきました。現在では海外11カ国・地域に16営業・生産拠点をもち、世界中のお客様の開発ニーズに応える体制を構築しています。



※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」を適用しています。

歴史の中で培った強みを生かし、創業100周年に向けてさらなる成長を目指します

価値創造プロセス

ブランドメッセージ

彩りの、その先へ。
今日の未知は、未来への道

INPUT	
価値創造の源泉	
財務資本	
● 総資産	194,852百万円
● 純資産	119,166百万円
● 資本金	10,039百万円
人的資本	
● 従業員数	3,634名
知的資本	
● 研究拠点数	国内6拠点
製造資本	
● 拠点数	国内13拠点 海外12拠点
自然資本	
● 総エネルギー (原油換算値)	32,075kL
● 純揚水量	2,471千m ³
社会関係資本	
● ステークホルダーとの共生	

※2024年3月末時点 連結ベース

事業セグメント

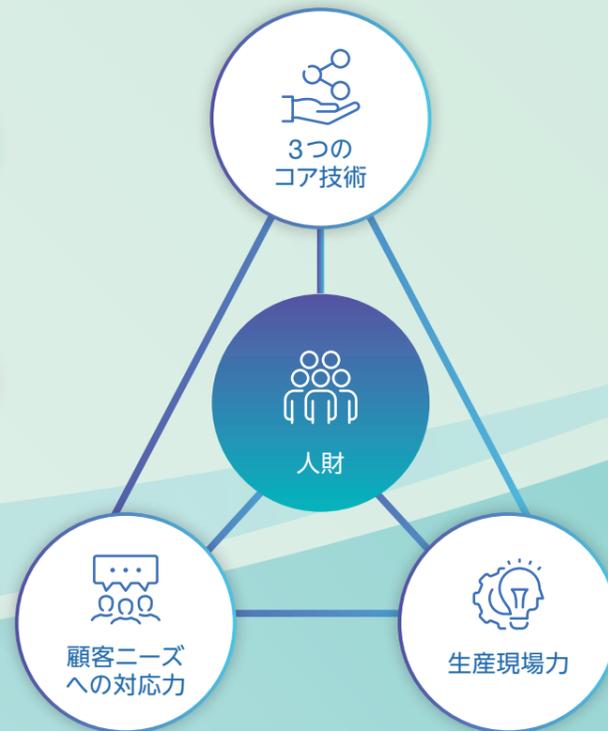
Color & Functional Products

Polymer & Coating Materials

Graphic & Printing Materials

価値創造基盤

顧客との価値共創
当社の強み



基本戦略



OUTPUT



OUTCOME



社会課題 (外部環境・事業環境)
● 気候変動 ● 資源循環 ● 国内人口減少 ● 人権尊重 ● 環境汚染
● 世界的食糧危機 ● 地政学的調達問題 ● サプライヤーの事業継続問題

中期経営目標
● 売上金額: 1,300億円
● 営業利益: 78億円
● ROE: 4.6% ROA: 4.3%
● エンゲージメントスコア: 2024年3月期実績56→59ポイント
● CO ₂ 排出量: 2020年3月期比31%削減

大日精化工業について
戦略・技術
CUSTOMER-ESGの取り組み
DATA